

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	無期限(2009年11月30日設定)
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、主としてインドネシアの金融商品取引所に上場されている株式に投資を行い、信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	外国投資法人「イーストスプリング・インベストメンツ - インドネシア・エキイティ・ファンド クラスJ」の投資証券(米ドル建て)およびわが国の証券投資信託「イーストスプリング国内債券ファンド(国債)追加型I(適格機関投資家向け)」の受益証券(振替受益権を含みます。)を主要投資対象とします。
組入制限	・投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ・外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 ・株式への直接投資は行いません。
分配方針	毎決算時(毎年5月12日および11月12日。休業日の場合は翌営業日。)に、基準価額水準・市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、収益分配を行わないことがあります。

運用報告書(全体版)

イーストスプリング・ インドネシア株式オープン

第27期(決算日 2023年5月12日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てにあずかり厚くお礼申し上げます。
さて、「イーストスプリング・インドネシア株式オープン」は、上記の決算を行いましたので、ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。
今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

【お問い合わせ先】

電話番号:03-5224-3400

(受付時間は営業日の午前9時から午後5時まで)

ホームページアドレス: <https://www.eastspring.co.jp/>

〒100-6905

東京都千代田区丸の内2-6-1丸の内パークビルディング

最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	税込 分配金	期中 騰落率	投資信託 証券 組入比率	純資産 総額
23期 (2021年5月12日)	円 7,615	円 0	% 1.0	% 95.6	百万円 6,997
24期 (2021年11月12日)	8,624	0	13.3	98.2	7,444
25期 (2022年5月12日)	10,189	0	18.1	92.8	8,423
26期 (2022年11月14日)	10,625	300	7.2	94.7	8,050
27期 (2023年5月12日)	10,444	0	△ 1.7	97.7	9,290

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 純資産総額の単位未満は切捨てです。

(注3) 当ファンドは公表されている適切な指数が存在しないためベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

当期中の基準価額等の推移

年月日	基準価額	騰落率	投資信託証券 組入比率
(期首) 2022年11月14日	円 10,625	% -	% 94.7
11月末	10,418	△1.9	97.5
12月末	9,774	△8.0	97.2
2023年1月末	10,197	△4.0	98.0
2月末	10,311	△3.0	97.8
3月末	10,133	△4.6	98.1
4月末	10,619	△0.1	97.7
(期末) 2023年5月12日	10,444	△1.7	97.7

(注) 騰落率は期首比です。

運用経過

基準価額等の推移について

(2022年11月15日～2023年5月12日)



第27期首	10,625円
第27期末	10,444円 (既払分配金0円)
騰落率	-1.7% (分配金再投資ベース)

(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様1人ひとりの損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、期首の値が基準価額と同一になるように指数化しております。

基準価額の主な変動要因

当期の基準価額は下落しました。

下落要因

・インドネシア株式市場が下落したこと。

インドネシア株式市場

当期のインドネシア株式市場は下落しました。期初から2023年1月中旬にかけては、世界的なインフレ加速への懸念や欧米の中央銀行による金融引き締め政策を背景に景気後退が意識され、外国人投資家の利益確定売りに押される展開となりました。その後、2月中旬にかけては米国のインフレ観測が後退し、米連邦準備制度理事会（FRB）が利上げペースを緩めるとの期待や、ゼロコロナ政策を終了した中国の景気回復期待などから投資家心理が好転し、インドネシア株式市場は上昇しました。3月には欧米で銀行の破綻や経営不安が相次ぎ、世界的にリスク回避姿勢が強まる中、インドネシア株式市場は下落に転じました。しかし、各国金融当局の迅速な対応により市場は落ち着きを取り戻し、さらにFRBによる利上げ打ち止め期待なども支援材料となり、外国人投資家からの堅調な資金流入が続いたことから、インドネシア株式市場は期末にかけて上昇しました。

為替市場

当期のインドネシアルピアは対円、対米ドルで上昇しました。期初から2022年12月下旬にかけて、ルピアは対米ドルで小動きとなりましたが、対円では12月に日銀が長短金利操作における許容変動幅の拡大を決定し円買いの動きが強まったことから下落しました。その後、ルピアは米金利低下を受けて2023年1月下旬にかけて上昇しましたが、3月中旬にかけては米金利の上昇や欧米の金融不安などを背景に投資家のリスク回避姿勢が強まり弱含みとなりました。期末にかけては、投資家心理が好転する中、株式および債券市場への外国人投資家からの資金流入を受けてルピアは上昇しました。

国内債券市場

日本国債利回りは期初から2022年12月中旬にかけて、狭いレンジでの推移となりましたが、日銀が12月の金融政策決定会合で長短金利操作における許容変動幅を拡大したことを受けて上昇（価格は下落）しました。2023年3月には欧米の金融不安が高まる中、利回りは急低下しましたが、植田新日銀総裁就任後の日銀の政策修正観測から上昇に転じました。しかし、4月下旬の金融政策決定会合を受けて早期の政策修正観測が後退し、利回りは低下しました。

ポートフォリオについて

当ファンド

主要な投資対象の一つであるイーストスプリング・インベストメンツ - インドネシア・エクイティ・ファンド クラスJ（以下「インドネシア・エクイティ」ということがあります。）の組入比率を高位に保つよう運用しました。

インドネシア・エクイティ

主としてインドネシアの金融商品取引所に上場されている株式を主要な投資対象として、企業の本質的な価値を重視したバリュー投資を基本とし、ボトムアップ・アプローチに基づく銘柄選択により、中長期的な超過収益の獲得を目指した運用を行いました。

当期は大手銀行のBank Rakyat、Bank Mandiri、Bank Central Asia、鉱山会社Merdeka Copper Gold、Aneka Tambangなどの株式保有がプラスに寄与した一方で、デジタル銀行Bank Jago、セメント会社Semen Indonesia、食品会社Charoen Pokphand Indonesiaなどの株式保有はマイナスに影響しました。

イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型I（適格機関投資家向け）

主としてデュレーションをコントロールすることによって、ベンチマークであるICE BofA 国債インデックス（1-10年債）を中長期的に上回ることを目指して運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドにおいては、運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

分配金額は、基準価額水準・市況動向等を勘案して、以下の通りとさせていただきます。なお、留保益の運用につきましては、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

分配原資の内訳（1万口当たり、税引前）

項目	第27期	
	2022年11月15日 ~2023年5月12日	
当期分配金	(円)	—
（対基準価額比率）	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	1,820

(注1)「当期の収益」と「当期の収益以外」は円未満は切捨てて表示しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

(注2)当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3)－印は該当がないことを示しています。

今後の運用方針について

当ファンド

主要な投資対象の一つであるインドネシア・エクイティの組入比率を高位に保つことを基本とします。

インドネシア・エクイティ

世界的に景気後退懸念が強まる中、インドネシアの長期的な見通しについては、人口動態の有利性や健全なマクロファンダメンタルズなどを考慮し、引き続き前向きに捉えています。2023年のインドネシアの国内総生産（GDP）は、堅調な消費と輸出の伸びにけん引され前年比約4.8%の成長を記録すると予想しています。足元の主要輸出品目は石炭やパーム油ですが、長期的には政府の川下産業強化の政策に沿ってニッケル加工品も加わることが予想されます。インドネシアの経常収

支は構造的な黒字化に向かってしているとみており、通貨と債券利回りにとっては追い風になると考えています。一方で、投資家のリスク回避姿勢の変化による通貨の乱高下などには注意が必要です。今後の状況を注視しつつ、市場の調整局面はファンダメンタルズが堅固な企業の株式を割安な水準で組み入れる好機と考えています。

イーストスプリング国内債券ファンド （国債）追加型I（適格機関投資家向け）

今後もファンダメンタルズ分析、金利動向予測、イールドカーブ分析等を行い、ベンチマークであるICE BofA 国債インデックス（1-10年債）を中長期的に上回ることを目指した運用を行っていく所存です。

1 万口当たりの費用明細

(2022年11月15日～2023年5月12日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	73円	0.717%	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 期中の平均基準価額は、10,242円です。
(投信会社)	(30)	(0.297)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(41)	(0.405)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(2)	(0.016)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	1	0.014	(b) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
(監査費用)	(1)	(0.006)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印刷)	(1)	(0.008)	目論見書および運用報告書等の法定開示書類の作成費用等
(その他)	(0)	(0.000)	余資運用に係る費用 (マイナス金利相当額)
合計	74	0.731	

(注1) 期中の費用 (消費税等のかかるものは消費税等を含む) は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

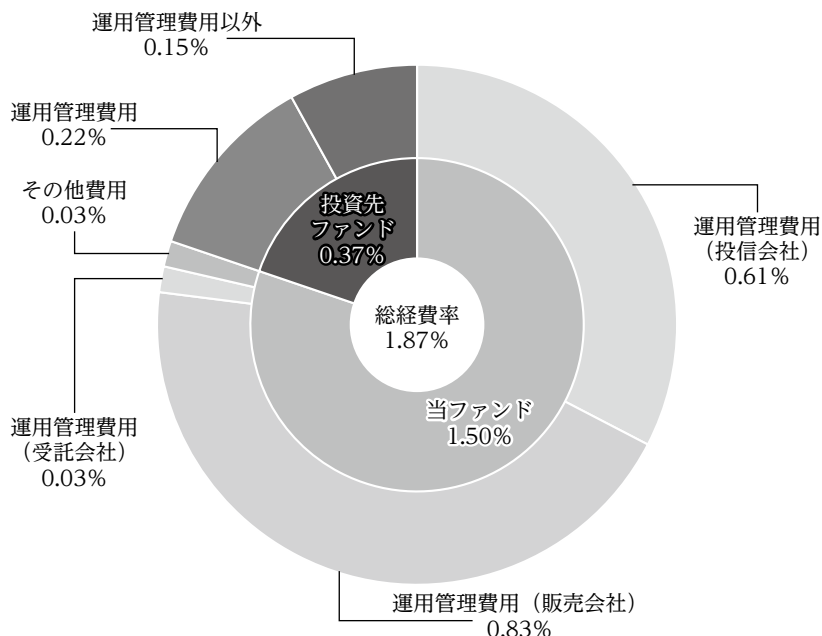
(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額 (円未満の端数を含む) を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注4) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

(参考情報)

■総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.87%です。



総経費率 (①+②+③)	1.87%
①当ファンドの費用の比率	1.50%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.22%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.15%

(注) ①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

売買及び取引の状況

(2022年11月15日から2023年5月12日まで)

投資信託証券

			買 付		売 付	
			口 数	金 額	口 数	金 額
外国	米 ド ル 建 ルクセンブルグ籍	イーストスプリング・インベストメンツ - インドネシア・エクイティ・ファンド クラスJ	千口 648	千米ドル 12,400	千口 76	千米ドル 1,500

(注1) 金額は受渡し代金です。

(注2) 単位未満は切捨てです。

利害関係人との取引状況等

(2022年11月15日から2023年5月12日まで)

当期中における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細

(2023年5月12日現在)

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名	期首 (前期末)	当 期 末		
	口 数	口 数	評 価 額	比 率
イーストスプリング国内債券ファンド (国債) 追加型 I (適格機関投資家向け)	千口 15,851	千口 15,851	千円 16,913	% 0.2
合 計	15,851	15,851	16,913	0.2

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率です。

(注2) 口数・評価額の単位未満は切捨てです。

(2) ファンド・オブ・ファンズが組入れた外貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名	期首 (前期末)	当 期 末			
	口 数	口 数	評 価 額		比 率
			外貨建金額	邦貨換算金額	
イーストスプリング・インベストメンツ - インドネシア・エクイティ・ファンド クラスJ	千口 2,819	千口 3,390	千米ドル 67,263	千円 9,055,677	% 97.5
合 計	2,819	3,390	67,263	9,055,677	97.5

(注1) 邦貨換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率です。

(注3) 口数・評価額の単位未満は切捨てです。

投資信託財産の構成

(2023年5月12日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投 資 信 託 受 益 証 券	16,913	0.2
投 資 証 券	9,055,677	96.6
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	298,124	3.2
投 資 信 託 財 産 総 額	9,370,714	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨てです。

(注2) 外貨建純資産(9,055,677千円)の投資信託財産総額(9,370,714千円)に対する比率は96.6%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2023年5月12日における邦貨換算レートは、1米ドル=134.63円です。

資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2023年5月12日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	9,370,714,066円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	298,123,612
投資信託受益証券(評価額)	16,913,084
投 資 証 券(評価額)	9,055,677,370
(B) 負 債	79,902,580
未 払 解 約 金	15,914,021
未 払 信 託 報 酬	62,757,763
未 払 利 息	856
そ の 他 未 払 費 用	1,229,940
(C) 純 資 産 総 額 (A-B)	9,290,811,486
元 本	8,895,494,377
次 期 繰 越 損 益 金	395,317,109
(D) 受 益 権 総 口 数	8,895,494,377口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,444円

(注1) 元本の状況

期首元本額 7,576,942,767円

期中追加設定元本額 2,010,559,099円

期中一部解約元本額 692,007,489円

(注2) 1口当たり純資産額は1.0444円です。

(注3) 上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

損益の状況

当期(自2022年11月15日 至2023年5月12日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 134,471円
受 取 利 息	4
支 払 利 息	△ 134,475
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 13,029,168
売 買 益	258,878,407
売 買 損	△ 271,907,575
(C) 信 託 報 酬 等	△ 63,987,703
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	△ 77,151,342
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	710,429,844
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△ 237,961,393
(配 当 等 相 当 額)	(909,019,234)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△1,146,980,627)
(G) 計 (D+E+F)	395,317,109
(H) 収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金 (G+H)	395,317,109
追 加 信 託 差 損 益 金	△ 237,961,393
(配 当 等 相 当 額)	(909,019,234)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△1,146,980,627)
分 配 準 備 積 立 金	710,567,901
繰 越 損 益 金	△ 77,289,399

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

(注4) 分配金の計算過程
計算期間末における費用控除後の配当等収益(0円)、費用控除後の有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定する収益調整金(909,019,234円)および分配準備積立金(710,567,901円)より、分配対象収益は1,619,587,135円(10,000口当たり1,820円)ですが、当期に分配した金額はありません。

分配金のお知らせ

当期の分配金は基準価額水準および市況動向等を勘案し、見送らせていただきました。

お知らせ

該当事項はありません。

<参考情報>

■投資対象とする投資信託証券の仕組み

ファンド名	イーストスプリング・インベストメンツ - インドネシア・エクイティ・ファンド クラスJ	
形態	ルクセンブルグ籍外国投資法人/オープン・エンド型	
表示通貨	米ドル	
運用の基本方針	主として、インドネシアの企業の株式または株式関連証券に投資を行い、長期的な成長を目指した運用を行います。	
主な投資対象	以下の企業の株式または株式関連証券を主要投資対象とします。 ・インドネシアで設立または上場している企業 ・インドネシアにおいて主に事業展開を行っている企業 なお、ADR、GDR等の預託証券、転換社債、優先株、ワラント債にも投資することができます。	
ベンチマーク	MSCI Indonesia 10/40 Index (MSCIインドネシア 10/40指数) ※ ¹	
ファンドの関係法人	運用会社	イーストスプリング・インベストメンツ (シンガポール) リミテッド
	管理会社	イーストスプリング・インベストメンツ (ルクセンブルグ) S. A.
申込手数料	ありません。	
運用報酬	年率0.225%	
管理費用等	年率0.15%程度	
その他の費用・手数料	組入有価証券の売買時に発生する売買委託手数料等がかかります。	
設立日	2007年7月2日	
決算日	毎年12月31日	

ファンド名	イーストスプリング国内債券ファンド (国債) 追加型 I (適格機関投資家向け)	
形態	国内籍証券投資信託/適格機関投資家私募	
表示通貨	日本円	
運用の基本方針	わが国の国債を中心に、国債、政府保証債、地方債等の公共債を主要投資対象とし、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指した運用を行います。	
主な投資対象	日本の国債、政府保証債、地方債	
ベンチマーク	ICE BofA 国債インデックス (1-10年債) ※ ²	
ファンドの関係法人	委託会社	イーストスプリング・インベストメンツ株式会社
	投資顧問会社	イーストスプリング・インベストメンツ (シンガポール) リミテッド
	受託会社	三菱UFJ信託銀行株式会社
主な投資制限	・株式 (新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。) への投資割合は、取得時において信託財産の純資産総額の5%以内とします。 ・投資信託証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以内とします。 ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。	
申込手数料	ありません。	
信託報酬	年率0.22% (税抜0.2%)	
その他の費用・手数料	監査費用、有価証券売買時の売買委託手数料等がかかります。	
設定日	2002年8月26日	
決算日	毎年2月25日 (休業日の場合は翌営業日)	

※1 MSCI指数はMSCI Inc. が算出している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。またMSCI Inc. は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

※2 ICEデータ・サービスおよびその関連会社は、提供するインデックスデータに関してその継続性、正確性、完全性を保証するものではなく、当該データ提供に係り発生し得る損害についてもその事由の如何を問わず責任を負うものではありません。

「イーストスプリング・インドネシア株式オープン」が主要投資対象とする「イーストスプリング・インベストメンツ - インドネシア・エクイティ・ファンド クラスJ」を含む「イーストスプリング・インベストメンツ - インドネシア・エクイティ・ファンド」の情報をご報告申し上げます。法令等に則り、2022年12月31日を基準日とするAnnual Report（監査済み）を基に、委託会社が抜粋、翻訳したものを記載しております。

損益計算書及び純資産変動計算書

2022年12月31日に終了した事業年度		米ドル
期初純資産		99,945,864
収益		
配当金		2,351,884
預金利息		4,292
収益合計		2,356,176
費用		
運用報酬		639,154
運営費用及びサービス費用		71,312
管理費用		84,860
保管銀行費用		38,112
取引手数料		28,800
管理・名義書換代行事務費用		14,106
監査費用、公告・印刷費用		664
税金		11,040
借越利息		333
役員報酬		(30)
その他費用		2,337
費用合計		890,688
純投資収益（損）		1,465,488
投資有価証券の売却に係る実現純利益（損）		5,481,472
外国為替に係る実現純利益（損）		(90,156)
実現純利益（損）		5,391,316
投資有価証券に係る未実現評価益（損）の変動額		(4,203,074)
外国為替に係る未実現評価益（損）の変動額		3,056
未実現評価益（損）の純変動額		(4,200,018)
運用による純資産の純増加額（減少額）		2,656,786
資本金の変動		
投資証券の発行		30,503,007
投資証券の解約		(39,114,187)
当期の純資産の変動額		(5,954,394)
期末純資産		93,991,470

投資有価証券明細表（2022年12月31日現在）

（米ドル表示）

銘柄	数量	通貨	取得金額	評価金額	対純資産比率 (%)
公認の証券取引所に上場されているまたは他の規制ある市場で取引されている譲渡可能な有価証券					
株式					
Indonesia					
Adaro Minerals Indonesia Tbk PT	8,800,000	IDR	1,011,583	959,110	1.02
Aneka Tambang Tbk	22,152,000	IDR	3,678,060	2,833,649	3.01
Astra International Tbk PT	9,075,100	IDR	4,246,029	3,315,419	3.53
Avia Avian Tbk PT	16,170,200	IDR	1,006,596	654,287	0.70
Bank Central Asia Tbk PT	11,320,100	IDR	3,982,895	6,200,609	6.60
Bank Jago Tbk PT	4,609,200	IDR	3,689,805	1,101,323	1.17
Bank Mandiri Persero Tbk PT	13,764,460	IDR	7,221,145	8,760,270	9.32
Bank Negara Indonesia Persero Tbk PT	8,678,536	IDR	3,976,334	5,135,102	5.46
Bank Rakyat Indonesia Persero Tbk PT	28,064,017	IDR	6,706,846	8,881,474	9.45
Barito Pacific Tbk PT	39,664,979	IDR	2,239,012	1,923,738	2.05
Bumi Serpong Damai Tbk PT	11,926,148	IDR	1,211,076	705,553	0.75
Charoen Pokphand Indonesia Tbk PT	11,954,700	IDR	4,433,741	4,338,554	4.62
Cisarua Mountain Dairy PT TBK	3,115,400	IDR	710,929	850,290	0.90
Dayamitra Telekomunikasi PT	17,777,542	IDR	999,780	913,673	0.97
Indah Kiat Pulp & Paper Tbk PT	4,253,000	IDR	3,207,297	2,384,295	2.54
Indofood CBP Sukses Makmur Tbk PT	4,591,500	IDR	2,776,180	2,945,601	3.13
Indofood Sukses Makmur Tbk PT	5,937,000	IDR	2,885,629	2,560,547	2.72
Kalbe Farma Tbk PT	33,914,400	IDR	3,453,573	4,547,131	4.84
Merdeka Copper Gold Tbk PT	17,412,250	IDR	3,431,806	4,611,629	4.91
Sarana Menara Nusantara Tbk PT	49,034,300	IDR	3,763,036	3,466,690	3.69
Semen Indonesia Persero Tbk PT	5,345,385	IDR	3,544,254	2,258,809	2.40
Sumber Alfaria Trijaya Tbk PT	24,758,100	IDR	3,222,149	4,218,498	4.49
Telkom Indonesia Persero Tbk PT	34,832,800	IDR	8,622,636	8,381,635	8.92
Tower Bersama Infrastructure Tbk PT	6,005,000	IDR	1,183,046	885,846	0.94
Unilever Indonesia Tbk PT	13,406,000	IDR	5,305,515	4,044,067	4.30
Vale Indonesia Tbk PT	6,172,700	IDR	2,805,418	2,824,895	3.00
			89,314,370	89,702,694	95.43
株式合計			89,314,370	89,702,694	95.43
その他の譲渡可能な有価証券					
株式					
Indonesia					
Berlian Laju Tanker Tbk PT	35,965,332	IDR	1,430,928	34,654	0.04
株式合計			1,430,928	34,654	0.04
その他の譲渡可能な有価証券合計			1,430,928	34,654	0.04
投資総額			90,745,298	89,737,348	95.47
その他資産				4,254,122	4.53
純資産				93,991,470	100.00

「イーストスプリング・インドネシア株式オープン」が組み入れている「イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型Ⅰ（適格機関投資家向け）」の直近の決算にかかる運用状況をご報告申し上げます。

1万口当たりの費用明細

項目	当期 2022/2/26 ～2023/2/27		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	24円	0.221%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は、10,672円です。
（投信会社）	(15)	(0.144)	委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
（販売会社）	(2)	(0.022)	
（受託会社）	(6)	(0.055)	
(b) その他費用	2	0.014	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（監査費用）	(2)	(0.014)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合計	26	0.235	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

組入資産の明細

(2023年2月27日現在)

公社債

(A) 種類別開示

国内（邦貨建）公社債

組入有価証券明細表

区 分	当 期			末			
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	う ち B B 格 以 下 組 入 比 率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
国 債 証 券	千円 619,500	千円 643,170	% 94.1	% —	% 41.2	% 38.8	% 14.1
合 計	619,500	643,170	94.1	—	41.2	38.8	14.1

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 額面金額・評価額の単位未満は切捨てです。

(注3) —印は組入れなしです。

(B) 個別銘柄開示
 国内（邦貨建）公社債
 組入有価証券明細表

種 類	銘 柄	当 期 末			
		利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
国債証券	第351回 利付国債（10年）	%	千円	千円	
	第354回 利付国債（10年）	0.1	50,000	49,555	2028/06/20
	第359回 利付国債（10年）	0.1	59,000	58,107	2029/03/20
	第63回 利付国債（20年）	0.1	90,000	87,709	2030/06/20
	第67回 利付国債（20年）	1.8	50,000	50,298	2023/06/20
	第67回 利付国債（20年）	1.9	45,000	45,937	2024/03/20
	第75回 利付国債（20年）	2.1	20,000	20,875	2025/03/20
	第80回 利付国債（20年）	2.1	38,000	39,858	2025/06/20
	第87回 利付国債（20年）	2.2	55,000	58,660	2026/03/20
	第91回 利付国債（20年）	2.3	135,000	145,686	2026/09/20
第117回 利付国債（20年）	2.1	77,500	86,479	2030/03/20	
合 計			619,500	643,170	

(注) 額面金額・評価額の単位未満は切捨てです。